

まちづくり系医師と赤ふん坊やとともに考える！

ソーシャルキャピタルと CBPRを意識した “まちづくり”

要事前申し込み

参加費
無料



まちをつくる。

住民・行政・医療者が三位一体となった
理想の地域医療とは？

超高齢社会を迎え、医療者や行政の力だけでは解決できない課題が増えていきます。福井県高浜町で「住民主体のまちづくり」を実践してこられた井階先生をお招きし、地域の絆（ソーシャルキャピタル）を育むヒントを学びます。



2026 令和8年

3/21(土) 14:00▶16:00

群馬メディカルセンター 2階 ホール
(群馬県前橋市千代田町1-7-4)



Google Maps

対象 医師・看護師・薬剤師・介護職員、
地域医療やまちづくりに関心のある方

現地開催 + ライブ配信 (ハイブリッド形式)

応募方法

下記URLまたは、QRコードより
お申込みください。

[https://sites.google.com/
/view/primarycaregunma/](https://sites.google.com/view/primarycaregunma/)

【定員】300名

会場:100名 Web:150人

※申込期日:3月14日(土)

※先着順のため、定員になり次第
締め切りとなります。

申し込みはこちら



講師 井階 友貴

Ikai Tomoki

福井大学医学部地域プライマリケア講座教授。たかはま地域医療イノベーションセンター センター長 高浜町 健康のまちづくりプロデューサー平成19年、兵庫県立柏原病院にて地域医療崩壊の現状を経験。平成20年より高浜町にて、住民・行政・医療者が一体となった医療づくりを追求。「たかはま地域医療サポーターの会」や「けっこう健康!高浜☆わいわいカフェ」を主宰し、地域の絆を醸成する活動を研究・実践中。

